

広島県畜産協会 会員情報 No.1

広島県畜産協会では、平成23年度第1四半期において、会員の皆様の支援をいただき、次のとおり事業を実施しましたのでお知らせします。

【総務関係】

1. 平成23年6月17日第11回定時総会を開催し、次の議案について原案通り承認を頂きました。

- 第1号議案 平成22年度事業報告及び収支計算について
- 第2号議案 平成23年度事業計画及び収支予算について
- 第3号議案 平成23年度会費の賦課徴収方法について
- 第4号議案 平成23年度借入金最高限度額決定について
- 第5号議案 平成23年度取引金融機関の決定について
- 第6号議案 肉用子牛生産者補給金制度の業務規程一部改正について
- 第7号議案 役員の改選について

①役員の改選では、次のとおり役員が選任されました。(敬称略)

会長理事	山崎 逸郎	(全国農業協同組合連合会広島県本部長)	留任
専務理事	梶川 道治	(学識経験者)	留任
理事	西本 好宏	(広島県農林水産局農水産振興部畜産課長)	新任
理事	梶田 隆仁	(広島県信用農業協同組合連合会代表理事専務)	留任
理事	中村 雅宏	(全国共済農業協同組合連合会広島県本部長)	留任
理事	山本 武	(広島県酪農業協同組合代表理事組合長)	留任
理事	瀧口 次郎	(社団法人広島県獣医師会会長)	留任
理事	西村 昌幸	(社団法人広島県配合飼料価格安定基金協会理事長)	留任
理事	首藤 清	(広島県農業共済組合連合会会長)	留任
理事	浜田 一義	(安芸高田市市長)	留任
理事	瀧口 季彦	(庄原市長)	留任
理事	牧野 雄光	(神石高原町長)	留任
理事	中原 照雄	(広島市農業協同組合経営管理委員会会長)	留任
理事	國川 剛平	(三原農業協同組合代表理事組合長)	留任
理事	新田 靖	(三次農業協同組合代表理事副組合長)	留任
理事	日野原 貢	(庄原農業協同組合代表理事組合長)	留任
監事	石川台以相	(広島中央農業協同組合代表理事組合長)	留任
監事	山上 一成	(福山市農業協同組合代表理事専務)	留任
監事	宮本 輝昭	(広島北部農業協同組合代表理事専務)	留任

②「一般法人・公益法人及び整備法」の施行に当たり、公益社団法人、一般社団法人の認定・認可申請に向けて、「法人移行問題検討会」を設置し組織討議を進める中で、今年度中に移行に向けて整理してゆくこととしました。

③新会員の加入

平成23年度より、世羅郡世羅町、呉農業協同組合に正会員としてご加入いただきました。

【基金事業部関係】

平成22年第4四半期補てん金総額：95,809千円

1. 平成22年度第4四半期の畜産物の価格安定対策に関する基金の管理と補てん金の交付

①補てん金の交付実績

(単位:頭、円)

区分	肉用子牛			繁殖支援	マルキン			養豚経営安定対策
	黒毛和種	乳用種	交雑種	黒毛和種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉豚
単価	-	21,800	-	-	-	55,300	35,600	860
頭数		625				758	825	12,671
金額	0	13,625,000	0	0	0	41,917,400	29,370,000	10,897,060

②各基金の加入契約状況と平成23年3月31日末現在の基金残高

基金	契約		基金残高 (千円)
	戸数	頭数	
肉用子牛生産者補給金	811	8,431	59,540
肉用牛肥育経営安定特別対策	85	7,544	302,254
養豚経営安定対策	17	78,686	22,091

注) 養豚経営安定対策基金については本年度から加入生産者と(独)農畜産業振興機構との直接交付方式となったため、平成23年6月に無事戻しを行い基金を閉鎖しました。

2. 平成23年度用子牛生産者補給金制度及び肉用牛肥育経営安定特別対策事業(新マルキン)の1頭当たりの生産者積立金(生産者負担額)の額が決定しました。

肉用子牛生産者補給金制度(子牛1頭当たり生産者負担額)

黒毛和種	乳用種	交雑種
550円	3,175円	1,250円

肉用牛肥育経営安定特別対策事業(肥育牛1頭当たり生産者負担額)

肉専用種	交雑種	乳用種
13,000円	25,000円	18,000円

【経営指導部関係】

1. 地方競馬振興

①福山市営競馬場において冠レースを開催し、地方競馬振興について支援を行いました。

平成23年5月8日 広島県酪農業協同組合会長賞 「青葉賞」(来場者先着700名に牛乳を無料配布)

平成23年6月19日 中国地区畜産協会会長杯 「仙酔島特別」

平成23年7月10日 広島県農業共済組合連合会長杯 「しらゆり賞」(来場者先着700名に牛乳を無料配布)

②次回の冠レースは10月に広島県馬事畜産振興協議会長杯「汐風賞」を開催します。

当日はこのイベントに合わせて、東日本大震災復興支援のため、東日本地域の畜産特産品の無料配布、福山競馬観戦ツアーを実施する予定です。詳細が決まり次第、本協会のホームページ(<http://www.hiroshima-lin.jp>)に掲載します。



地方競馬は、畜産農家に対する経営・技術指導事業、家畜の衛生推進事業など、地域の畜産振興に寄与しています。

2. 広島県養豚協会

①平成23年6月24日に本会が事務局を担当している広島県養豚協会の第16回通常総会を開催し、提出議案は原案どおり承認いただきました。

第1号議案 平成23年度事業報告及び収支決算について

第2号議案 平成23年度事業計画及び収支予算について

第3号議案 平成23年度会費の賦課徴収方法について

第4号議案 役員の改選について

②本年度は役員の改選期にあたり、次の方が会長・副会長に選任されました。

会長 小林 茂之 (日本畜産株式会社) 留任

副会長 近藤 修示 (神石郡神石高原町) 留任

副会長 石井 史夫 (農事組合法人広島県東部養豚組合) 新任

③林監事の退任に伴い百間不二夫(庄原市山内町) 監事を新たに選出いたしました。

④本年度の重点事業である後継者育成については、協会の後継者を対象に、6次化産業に向けて取り組んでおられる岡山県津山市の(有)日笠農産(パークシャー35頭を飼養、レストランから直売所まで経営)の視察・研修を計画しています。

⑤エコへの取り組み、衛生環境の改善に関する次の研修会を開催しました。

- ・学校給食エコフィードの取り組みと今後の課題 (株)西尾興産
- ・畜産分野でのスーパー次亜水の活用法について (株)メディシン

3. 本年度は、畜産経営支援事業としてつぎの自主事業を展開しますので、会員の皆様方の希望により取り組んでいきますので支援をよろしく願います。

①畜産経営クリニック診断事業（新規）

「市町、JA等の組織において将来、地域の中心的な経営として育成を図ろうとする後継者等を対象に、生産技術、経営管理、環境保全対策に至るまでの総合的な診断・支援」

②総合コンサルテーション事業

「畜産簿記講座、有資格者による経営コンサルテーション、粗飼料・土壌分析結果の検討」

③堆肥センター活性化事業

「堆肥成分の分析・比較、堆肥センターの運営管理」

④本会会員支援事業

「畜産情報の紹介と提供、畜産担当者研修等」

畜産担当者研修につきましては、会員の初任担当者を対象に平成23年7月29日広島市で開催します。（案内は会員宛て発送済み）

4. 分析事業の実施

飼料成分分析、堆肥成分分析、土壌成分分析を行います。

随時、申込みを受け付けていますので、分析のご希望があれば、経営指導部までご連絡下さい。

【共通】

1. 第1回業務推進会議開催

平成23年6月22日 JAビル（広島市）

出席者：55名

業務推進会議を開催し、県、市町、JA、関係団体の担当者を対象に、平成23年度の基金事業部、経営指導部会の事業計画を説明、協議し、効果的な事業の実施に向けて意見交換、情報交換を図りました。

作成日：平成23年7月26日

社団法人広島県畜産協会

〒730-0051 広島市中区大手町4-7-3

経営指導部

基金事業部

TEL(082)244-1783

TEL(082)244-4768

FAX(082)504-0484

FAX(082)504-0484

eメール e-jan@lin34.jp

ホームページ <http://www.hiroshima-lin.jp>